

3月10日は「農山漁村女性の日」です

農林水産省では、女性が農林水産業の重要な担い手として、より一層活躍していくことを促進するために、3月10日を「農山漁村女性の日」と定めています。この機会に、令和8年3月3日に、「令和7年度農山漁村女性活躍表彰」表彰式、3月10日に、「第10回大農業女子会」を開催するなど、全国で関連行事が開催されます。

1 「令和7年度農山漁村女性活躍表彰」表彰式

「農山漁村女性活躍表彰」は、農林水産業及び農山漁村の活性化や農林水産業経営や政策・方針決定への女性の参画推進、次世代リーダーとなりうる若手女性の農林水産業への参入など女性活躍推進のために積極的に活動している個人又は団体を表彰しています。今年度も女性農林漁業者の活躍を讃えるため、「令和7年度農山漁村女性活躍表彰」の表彰式を行います。

表彰式では、受賞者の授与式や大臣賞受賞者による取組事例の発表に加え、昨年度の農林水産大臣賞受賞者であり今年度の農林水産祭(女性の活躍)内閣総理大臣賞を受賞した徳永順子さんの基調講演を行います。

○開催日時及び場所

日時: 令和8年3月3日(火曜日)13時00分から16時30分まで(申し込みは終了しています)

場所: The Place of Tokyo(東京都港区芝公園3丁目5-4)

○主催 農山漁村男女共同参画推進協議会

○後援 農林水産省、全国農業協同組合中央会、全国森林組合連合会、全国漁業協同組合連合会、一般社団法人大日本水産会

埼玉県内の受賞者

最優秀賞(農林水産大臣賞)

女性地域社会参画部門(個人): 越生町 山口 由美氏

女性登用・組織参画部門: 比企郡滑川町 比企地域女性農業委員・農地利用最適化推進委員連絡会(代表 杉田 京子氏)

2 「第10回大農業女子会」

大農業女子会は、全国のメンバーが集い対面で語り合う中で、メンバーの経営力強化やメンバー同士の新たな出会いとつながりを育む取組です。

今回は、地域の中で情報を発信していく際、話し合いを進めていく際のヒントについて講演をいただいた後、グループワークを開催いたします。

○開催日時及び場所

日時: 令和8年3月10日(火曜日)14時30分から17時30分まで

場所: 農林水産省 7F 講堂

所在地: 東京都千代田区霞が関1丁目2-1

○基調講演テーマ「地域での話し合いを円滑に進めるヒントについて」

○参加者 農業女子プロジェクトメンバー

農林水産省 HP(女性の活躍を応援します)のリンクはこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/jyosei/index.html>

詳しい内容は、以下のリンクをご覧ください。

URL: <https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/kourei/260220.html>

埼玉県幸手市で、令和7年度に認定新規就農者となった、就農1年目の戸塚悠介さんをご紹介します。

戸塚さんは、埼玉県幸手市で水稻栽培を行っている就農1年目の認定新規就農者です。

実家は兼業農家で、幼少期の頃から機械が好きで、農機を動かす父の姿を見て、いつか農業に携わりたいと思っていました。

大学の農学部に進学し、卒業後は農機メーカーに就職、営業や商品企画などを担当していました。最初に配属された営業でICT担当として全国各地を回り農機の扱い方や実演を行い、農家の方々と触れ合うなかで自分も農業をやりたいという気持ちが更に高まっていました。

その後配属された商品企画では農機の開発に携わりましたが、営業当時の現場での経験が忘れられず就農を決意し、約9年勤めた会社を辞め、埼玉県加須市の農業生産法人に雇用就農して更なる知識や技術の習得に努めました。

知人が「幸手市内で後継者を探している人がいる。紹介してもよいか？」と声をかけてくれたのをきっかけに一気に独立就農の話が進み、田植機やコンバイン、穀類乾燥機などを当該農家から譲り受け、農地約7haも農地中間管理機構を通じて引き続き借り受けることができ、本年1月5日、認定新規就農者として認定されました。

新たな育苗ハウスの完成が4月以降にずれ込みそうなので、自ら育苗した苗以外の苗は購入して対応する予定とのことです。一気に約8haの経営面積になりますが、「農業生産法人での経験を活かし、複数品種を作付し作業の平準化を図り、まずは慣行栽培でしっかり収量を確保できるよう取り組みたい。」とのことです。

販売先は、JAへの出荷が主になるとのことですが、ふるさと納税の返礼品を取り扱っている市内の米穀店などにも販売していきたいそうです。



戸塚 悠介さん



田起こし中

今後については、「積極的に農地を借り受け、経営規模拡大を図るなかで麦作等も検討していきたい。当面は一人での作業となるが、今後必要性を感じれば法人化にも挑戦したい。」「有人の自動操舵やICTにも興味があるので、スマート農業機械もすすんで導入していきたい。」とのことです。

最後に、「米価が不安定な中でも設備投資はしていかなければならない。国には、融資や設備投資に安心して取り組める先が見通せる米施策・仕組み作りをお願いしたいです。」といただきました。

編集：関東農政局 埼玉県拠点

〒330-9722 さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館

TEL 048-740-5835

<関東農政局HP> <http://www.maff.go.jp/kanto/>